



## 副院長就任あいさつ

愛知県がんセンター中央病院 副院長 篠田雅幸



平成17年9月16日付けで副院長を拝命いたしました。

私は昭和51年に金沢大学医学部を卒業後、振り返りますと研修医時代を含め実に24年という年月を愛知県がんセンターとともに過ごしてきました。昭和58年6月に奉職してからは、胸部外科部(旧外科第2部)の諸先輩をはじめ多くの先生方の薫陶(くんとう)を受け、主に食道がんの外科治療を中心とした集学的治療に携ってきました。現役でいる限りベッドサイドが自分の場所であり、また自分の守備範囲をきちんと守り発展させてゆくことが使命であり、かつ当センターに貢献する道であると考えていましたので、突然のコーチ兼任にも似た辞令に躊躇もありました。しかし、人生の中盤を過ぎてこのような機会を与えられたことを素直に感謝したいと思います。

さて、少子高齢化、社会資本の不足といった私たちを取り巻く環境のなか、個人の価値観は多様化し、二律背反ともいえるべき効率化と個別化が医療の世界にも求められています。がん克服という国民的課題があるにしろ、がんセンターも病院として例外ではないと思います。その中にあっても、治療の最先端を行く鋭さと温かさを兼ね備え「やはり愛知県がんセンター」と高く評価される病院であってほしいと願っています。そのために微力ながら尽くせばと考えております。

皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 新外来処置室がオープンしました。

外来部長 平井 孝



12月5日(月)に新しい処置室が「外来化学療法センター」としてオープンしました。引っ越しは職員の協力により、円滑に行うことができました。

新処置室はリクライニングシートタイプの処置ベッドを9床増やして合計29床(従来20床)となりました。専任看護師も6名から8名へ増員。受付クラークも配置することになりました。

薬剤部も1名増員されて処置室の利用人数の増加に対応いたしました。現在、一日平均では45名で、化学療法が約2/3を占めている状況です。

今後も利用のシステムを再検討し、安全で効率の良い外来での治療基盤となるように工夫していきます。よろしくお願いいたします。



## ワクチン開発を目指した 弱毒ヒトサイトメガロウイルスの作成

研究所からの報告

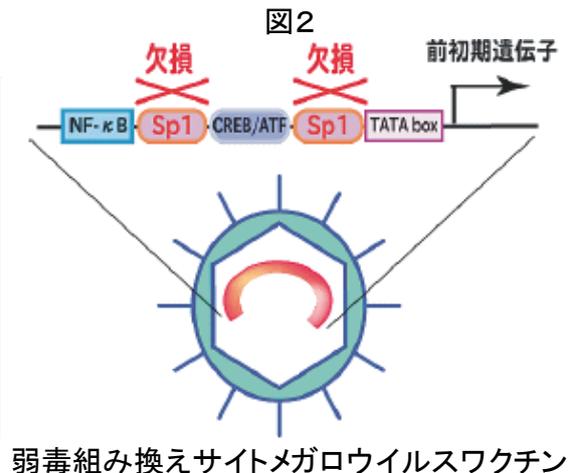
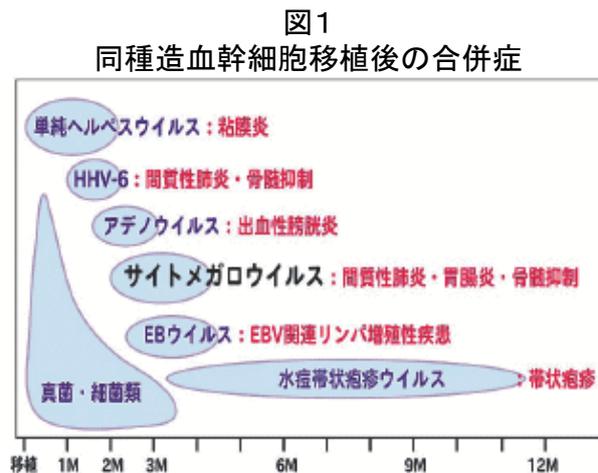
白血病等の治療として造血幹細胞移植がおこなわれていますが、免疫抑制剤を使用するため移植後に免疫力が低下した状態になり、ヒトの体に潜伏しているヒトヘルペスウイルス等が再活性化して、様々な病変をおこすことがあります。中でもヒトサイトメガロウイルス(HCMV)は肺炎、骨髄抑制等の重篤な合併症をおこすことが知られ、その対策が求められています(図1を参照)。またHCMVは妊婦が初感染すると胎児に重篤な発育遅延をもたらすことが知られています。



研究所  
腫瘍ウイルス学部  
部長 鶴見達也

従来、HCMVは多くのヒトが幼児期に感染し、その後生涯潜伏、持続感染していましたが、近年わが国においても欧米同様、HCMVの抗体保有率が低下してきています。HCMVの初感染を防ぐために、ワクチン接種を行うことが望ましいと考えられています。しかし、その摂取したHCMVワクチンが移植後に再活性化する可能性が考えられますし、自然に感染したHCMVではなくて、ワクチン接種したHCMVが合併症をおこすことは絶対にさげなければいけません。

そこで、当部では研究プロジェクトの一つとして磯村寛樹主任研究員が中心となり、抗体は作るけれども再活性化は起こさないような弱毒ウイルス株の作成を試みています。HCMVの増殖に必須でウイルス増殖に大きな影響を与えるHCMVの前初期遺伝子に着目し、最新の遺伝子組換えの技術を用いてSp1/Sp3という蛋白質が結合する制御領域を欠損することにより前初期遺伝子の発現が大きく低下した弱毒ウイルス株の作成に成功しました(図2を参照)。今後、この株がワクチンとして適しているか、本当に再活性化してこないのかをさらに検討したいと考えています。



## クリスマスコンサートを開催しました

12月10日(土)に、入院患者様を対象としたクリスマスコンサートを開催しました。

毎年、クリスマスの時期に金城学院大学の卒業生で結成された「ケリーベルクワイア」によるハンドベルの演奏をしていただいております。今年で14回目となりました。

「赤鼻のトナカイ」始め全6曲を演奏していただき、ハンドベルの美しい音色に、一足早いクリスマスの気分を味わいました。



## ここまで来た 痛みのコントロール



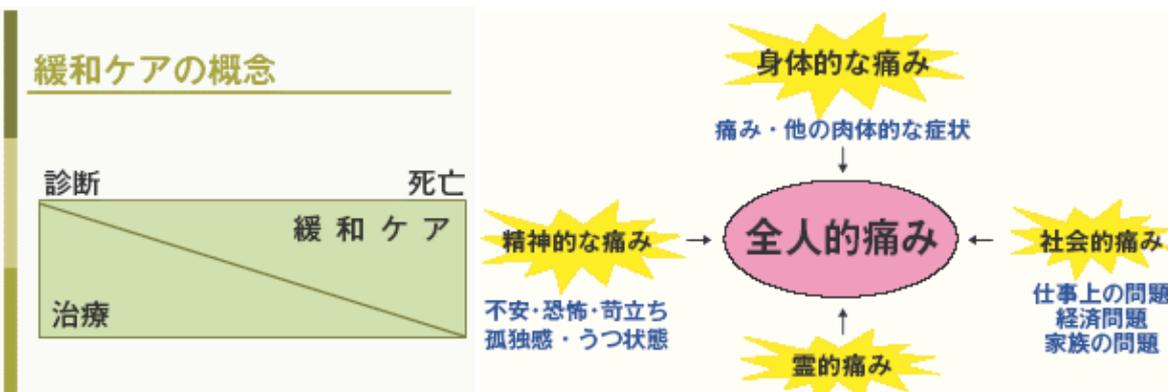
中央病院  
看護部

看護師 山崎祥子(左)  
新田都子(右)

3年前に「緩和医療チーム」が発足しました。私達「がん性疼痛看護認定看護師」はメンバーの一員として、医師、薬剤師、MSW(医療相談員)と共に院内の疼痛コントロールに対応しています。当院では、WHOのがん性疼痛治療法を基本とした痛みの治療が行われています。緩和医療は終末期だけでなく、がんと診断されたその時から開始されるというWHOの概念が定着し、終末期の痛みだけではなく、治療による痛みにも取り組んでいます。痛みを過小評価せず、その原因を考え、適切な薬剤を適切な方法で使用されるように働きかけ、現在はモルヒネだけでは取りきれない神経因性疼痛に対する治療も定着しつつあります。

痛みは身体的なものだけではなく、精神的、社会的、霊的(スピリチュアル)な痛みが混在した全人的痛みとして対処しなければコントロールはできません。そこで、薬剤の知識を深めるだけではなく、患者様としっかりと向かい合う関係作りやリラクゼーションとしてのマッサージ、アロマテラピーにも取り組み始めました。

今後も当院の除痛率の向上を目指し、QOL(生活の質)を保ったがん治療をサポートしていきたいと思えます。



### 医師の紹介 今回は、麻酔科部です。

麻酔科部はスタッフ4名(1名は循環器専門医)、非常勤医7名、各科レジデント2名で、手術を受けられる患者様を支える業務を行っています。術中の呼吸循環の安定、術後痛の軽減を目標とするバランス麻酔が中心です。2004年度は1,830例の全身麻酔が安全に実施されました。



## Aichi Cancer Center News

### 主な診療案内

平成18年1月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。  
受付時間: 午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機)午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	波多野	樋田	山雄	森島	中村
消化器内科	山雄(初診)・田近河合	山雄(初診)・水野河合・澤木	山雄(初診)・高橋澤木	中村・高橋澤木(初診)	中村(初診)・田近水野
呼吸器内科	[初診]樋田(第1・5) 吉田(第2)・堀尾(第3) 清水(第4) [再来]堀尾	樋田(初診)・吉田	清水(初診)・樋田	堀尾(初診)・清水	吉田(初診)
循環器	波多野			波多野	
血液・細胞療法 薬物療法	山本(初診) 鏡味・田地・室	森島・山本・神谷	鏡味(初診)・田地・室	森島・山本・神谷	鏡味・田地(初診) 神谷
頭頸部外科	長谷川・小川		長谷川・兵藤	(予約のみ) 寺田(第1・3)・小川(第2・4) (第5交代制)長谷川 寺田・小川・兵藤	寺田 兵藤(第2・4予約のみ)
胸部外科	(予約のみ)	(予約のみ)	(予約のみ)	光富・波戸岡	光富・篠田 波戸岡・森
乳腺科	藤田(初診) 角田・林	林(初診)・岩田角田	角田(初診)・岩田山下	山下(初診)・岩田林・藤田(午前のみ)	岩田(初診)・角田山下・藤田(午前のみ)
消化器外科	山村(第2・4) 伊藤(第1・3・5)・小森	金光・望月	加藤・山村・清水	安井・平井・伊藤	(予約のみ)
整形外科	杉浦・山田	杉浦	山田		杉浦(第1・3・5) 山田(第2・4)
泌尿器科	林		脇田	林・脇田	
婦人科	丹羽(初診) 水野(初診)	中西・伊藤(初診) 丹羽(第1・3・5) 水野(第2・4)	伊藤 水野(初診第1・3・5) 丹羽(初診第2・4)	中西(初診) 水野・丹羽	中西(初診) 伊藤(第2・4)
放射線診断部	稲葉(初診)・佐藤		稲葉(初診)・山浦		稲葉・林
放射線治療部	不破・古平	古平・立花	不破・立花	不破・立花	不破・古平

※医師名の後の数字は、月の週を表します。 ※変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※再診予約制: 診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。

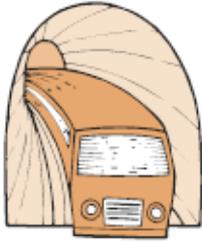
※052-764-2911(直通)午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

## 交通案内

地下鉄利用:[自由ヶ丘]②番出口から 徒歩7分

◎名古屋・栄から

所要時間:名古屋から約30分



東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。

◎金山・栄・大曾根から 所要時間:金山から約35分  
名城線乗車、[自由ヶ丘]下車。

市バス利用:[千種台中学校]下車 徒歩4分

◎名古屋駅から 所要時間:名古屋駅から約40分  
基幹2系統[光ヶ丘]または[猪高車庫]行き乗車、[千種台中学校]下車。

◎星ヶ丘から 所要時間:星ヶ丘から約20分  
星丘11系統[地下鉄自由ヶ丘]行き乗車、[千種台中学校]下車。

所在地 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1

Tel.(052)762-6111(代)

URL;<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

Fax.(052)764-2963